

I 事業の概要（地域の実情含む）

本校では、「未来を創造し、いわての復興・発展を担う生徒の育成」をねらいに掲げ、復興教育を推進している。

本校が所在する地域においては、東日本大震災における被災はほとんどなかったが、「風化させない活動」、「防災教育」等と関連付けながら教育活動を進めている。主な具体的実践として、(1) 校長による通信の発行、(2) 学級担任による副読本の読み聞かせ活動、(3) 講師を招聘しての講演会の開催、がある。このような継続した活動から、生徒、保護者の関心も高い。

震災学習列車での学習を通して、震災当時の様子、現在の復興状況及び現状の問題について理解を深め、本校復興教育の取り組みにつなげていきたい

II 取組の概要

1 事前学習

本学習の流れについてのガイダンスを通して、アンケート等を行いながら、その概要を学習した。本学習を通して、身につけたい力や追求したいテーマについて考え、設定した。

2 「震災学習列車」での学習

(1) 日時

平成30年6月29日（金）

(2) 当日の日程

8：15 学校出発、久慈駅へ移動

9：00 震災学習列車乗車（久慈駅より乗車）

- ・三陸鉄道社員のガイドによる「震災当時の様子」、「現在の被災地の状況・問題」等についての説明を聞き、学習した。



10：10 震災学習列車降車（田野畑駅にて降車）、借り上げバスで田野畑村、宮古市に移動

- ・地元震災語り部（田野畑村震災語り部ガイド）による避難経路案内等。





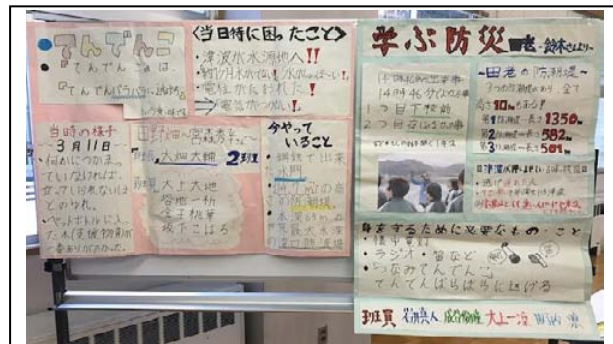
・学ぶ防災ガイドによる説明、DVD鑑賞
(宮古市田老町防波堤、たろう観光ホテル
※田野畑村よりバスにて移動)



3 事後学習

まとめの学習として、以下の活動を行った。

- (1) お礼状の作成。
- (2) 個人レポートの作成。
- (3) 班ごとのまとめ。
- (4) 全校生徒を対象とした復興学習発表会の実施。



※ 発表資料は、三者面談期間中、まとめ（模造紙）を掲示し、保護者にも見ていただいた。また、10月に行われた本校の文化祭においても展示発表した。

III 取組の成果と課題

【成果】

- 1 本事業での学習活動を通じて、本校復興教育の充実を図ることができた。
- 2 一学年の「総合的な時間」のテーマとの繋がりを意図的に設定しながら各活動を行うことで、生徒の関心がより高まり、学習前と学習後の生徒一人一人の意識の変容を図ることができた。
- 3 震災学習列車のガイドからの説明をはじめ、田野畑村震災語り部ガイドによる避難経路案内、宮古市田老町の学ぶ防災ガイドによる説明等の体験に基づく学習は、生徒にとって大変有意義なものとなった。

【課題】

- 1 本事業を進めるにあたり、計画の吟味（期日、内容、予算等）をしっかりと行う必要があると感じた。より充実した学習にするためにも、関係機関と連絡を密にしながら、進めていきたい。